

平成28年度 第3回大阪府立豊中高等学校協議会議事録

日 時 平成28年12月19日（金）16:00～18:00

場 所 校長室

出席者（敬称略）

委 員 西澤信善、越智克司、杉本彩二郎、大川雄司、蛭谷みさ、岩元宏司

事務局 校長、教頭、事務長、上林、朝倉、加田、吉田彩、瀬尾、外山、綾城

1. 校長あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 協 議

（1）今年度の取組みについて

①「自学自習」の確立に向けた取組みについて

自学自習の安定が授業の充実に繋がるので、自学自習は大きな課題と捉えている。スタディーサポートは年2回4月と8月に実施しているが、今年の1年生は、4月の結果では、学習時間は昨年度に比べてやや増加しているものの、休日にほとんど勉強しない生徒が17.5%と割合が増加している。また、8月の結果からは、家庭での自学自習の時間は増えてはいるものの、何のために学習をしているのかが漠然としている様子が見える。このため、自学自習を学校の時間内にできるだけ組み込んで自学の習慣を養うこととした。

<質 疑>

- 自学自習する期間で何をやるべきかなど目標を記入するシートを作成すればより効果的になると思うがどうか。
- 参考にさせていただく。

② 授業力向上に向けた取組みについて

生徒側が、予習復習をして授業に臨むことが一番重要となるが、教員は、授業をいかに充実させていくかを考えていく必要がある。そのために、教科の枠を越えて相互授業見学を行い、授業見学で作成した「授業見学記録カード」を基に、大阪府教育センターとも連携しながらパッケージ研修を実施している。本年度はアクティブラーニングを主たるテーマに決定し、現在、本校にふさわしいアクティブラーニングの導入に向けて模索しているところである。

<質 疑>

- 相互見学では同じ教科の先生が見学するのか
- 最低2回は見学することになっており、一つは同教科、もう一つは別教科で若手はベテランをベテランは経験の少ない教員を見学することとしている。
- 現在は、知識だけではなく新しい発想を生み出すことが求められている。そのためにもアクティブラーニングは重要と考える。

③ 3年間を見通した進路計画について

- ・1年生→豊中高校では、2年生から文系理系でカリキュラムが異なるため、1年生2学期の考査後には文理の選択をさせている。選択の参考としてもらうため、オープンキャンパスの全員参加、職業別進路講演会などを実施。

- ・ 2年生→2学期後半には受験生としての意識をもってもらう。このため、2年生・3年生には全大学の受験科目が記載された本を2学期の最初に配布。また、進路と模試関連講演会の2つの講演会を実施。
- ・ 3年生→模試の結果を校内偏差値に換算して生徒に資料を配布。生徒が目標を持てるような指導に役立っている。

(2) 平成28年度学校教育自己診断について

学校教育自己診断として、生徒、保護者、教員対象にアンケートを実施した。生徒については、入学に対して肯定的、学習についてもていねいに教えてもらっているとの評価であった。また、GLHSやSSH事業について、保護者と比べ事業の認知度は低い、生徒にとって事業名はあまり関係なく、学校としていろんなことに取り組んでいることを知ってもらえば良いと考えている。

また、自習室の利用は2割を切っており、図書室については1割の利用となっている。自学自習の確立のためノークラブデーも活用して習慣づけをしていきたい。

保護者については、進路関係の情報があまり伝わっていないとの指摘があるが、学校としては手紙の配布やメール配信で情報は発信しており、学校と保護者との間で温度差があるとの認識である。

教員については、全体的に肯定的な評価の中、「学校運営に教職員の意見が反映されている」の項目が60%の評価となっている。全て教職員の意見を反映させることは難しい。

<質疑>

- トイレなどの設備を整備してほしい。生徒のやる気にもつながる。
- 建て替えについては、大阪府が建物の耐用年数を50年から80年まで延長とする方針となったため難しい。
- トイレは、府立学校200校を3年計画で1系統だけが改修する旨知事が議会で答弁しており、その期間で整備されることとなる。
- IT機器は足りているのか。
- まだ不十分であるが、SSHやSGHの事業を活用して充実はしてきている。

(3) 各学年から報告

各学年主任から学年の報告を行った。

(4) 1年間のまとめ提言

- アンケートの結果に先生の努力が集約されている。全般的に生徒の評価は高いが、遅れている生徒へのケアや少数ではあるが先生の授業のしかたなどについて意見もあるので考えてほしい。
- 行事や部活もよくやっている。勉強と両立してくれればと思っている。
- 設備について、トイレに不満があるようだ。
- 保護者との連絡を密にするなどの改善をお願いしたい。
- 進路については、保護者の要求は高いがよろしくをお願いしたい。
- PTA活動について、高校は小・中学校とは異なり地域と連携していないので、保護者が学校に来る機会を増やしてほしい。
- 図書館の利用率が低い、施設の有効活用の観点から何か考えるべきではないか。
- 保護者の進学校への期待は高い。土曜講習などを行っていることをもっと発信すべきではないか。

以上